

# 生徒指導部だより

令和2年8月 第 今こそ自分と向き合わなきゃ 号

生徒のみなさん、いまだにコロナに振り回されている状況が続いていますね。「休校」「分散登校」「短縮授業」など生活リズムを整えるのに大変だと感じます。しかし、「毎日の検温」「ソーシャルディスタンス」「手洗いやうがい、消毒」「マスク着用による感染の注意」「自己の健康への留意」など、自分のことはもちろん相手への気遣い、モラルなど、非常事態時にみんなで協力し、日本だけではなく、全世界で乗り越えなきゃいけない人類の一員としての自覚や対応をたくさん学べたのではないのでしょうか。逆境を力に！今こそ、今の自分と向き合い、経験を活かし人間力の向上を図り、平常な日常生活を取り戻していきましょう。

## ① これから平常登校へ向けて動いていきます。

- ① まずは、生活リズムを整えること。休校・分散登校で就寝時間、起床時間がずれていると思います。平常登校へ向けて時間の調整を日々意識しましょう。
- ② 休校中に、身なりの変化が見受けられる生徒が数名います。けじめをつけ、登校時には染髪、髪型等の直しをしっかりと対応し登校しましょう。
- ③ まだ感染拡大への注意には気を緩めてはいけません。体調管理を継続し、手洗い・うがい・消毒の徹底とマスク着用を心掛け、感染終息へ向けて行動しましょう。
- ④ 登校した際には、学力・体力の取り戻しを図ります。また、大事なものは差別や偏見による「いじめ」に発展するような、いじり、誹謗中傷、嘘、デマが無いように、軽はずみな言葉づかいなどに気をつけ、間違っただけなどによる相手への攻撃、仲間はずれなどが無いようにしましょう。

※ 現在、頭髪の染髪や髪型による面談をおこなっています。3年生、2年生は頭髪による指導はほとんど無くなってきました、面談にも来てくれて今後について話しができています。2・3年生の皆さん、ありがとう！(\*^o^\*)  
しかし、残念なのが1年生の中で染髪、奇抜な髪型による指導対象者が多々見られます。面談にも来ないので指導が滞っている状況です。1年生の皆さん、学業の専念と卒業後の将来を見据え、対応できるようになりましょう。

## ② 新型コロナ啓発動画

※動画を開く際、下記の URL をクリックしてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=5U3hxZOLxaw>

(北九州教育委員会提供動画引用)

<https://www.youtube.com/watch?v=rbNuikVDrN4>

【日本赤十字社】「ウイルスの次にやってくるもの」 引用

### 感染症の歴史

<https://www.youtube.com/watch?v=Q-WWk1yjBpQ>

10分でみる 感染症の歴史 家畜のはじまりからパンデミックまで

上記の啓発動画を見て、もう一度、自分の心を整理し学校生活に向き合えるよう頑張ってください。また「感染症の歴史」として動画を掲載していますが、これまで人類は過去からウイルスとの戦いです。文明の発達、医学の発展、人類の対応力で打ち勝ってきました。このコロナウイルスにも打ち勝つでしょう。経験を活かし力を合わせ頑張ってください！

**1年生の皆さん**、入学前からコロナウイルスの影響で高校生活が順調に過ごせていない状況ではありますが、現状の中でも自己を見失わずに、できることをやっていきましょう。  
高校はあなた達の将来を選択していく大きな分岐点となる場です。自分に甘く学校生活を送れば人生の選択肢は狭まります、自分を律し努力すれば人生の選択肢は広がります。ある可能性は使わなければ無くなります。ある可能性は使えば新たな可能性に出会えます。

## 1年生の皆さん、 頑張りましょう！

むごい教育。  
教育とは人を育てること。  
甘えを捨てること人が人をつくり成長させることを考えてみよう。  
徳川家康はその幼少時代、人質として今川義元のもとに預けられました。そのとき義元は『家康にむごい教育をするように』と家康に命じたそうです。  
何日かたって様子を聞くと、家康はここぞとばかりに、『朝起きるとすぐから鍛え上げ、激しくむごい教育をしています。』と答えました。すると義元は、『違う！今から家康に対し、食事ごとに山海のごちそうを与えよ。周囲には身の回りの世話をする美女をおけ』と言いました。  
『それでは甘やかすことになりませんか。』と家康が問うと、『むごい教育とは、あの男を骨抜きにして将来武士として立てないようすることだ』と答えたそうです。  
現代を生きる私達も甘やかされ、厳しいことは意地悪だと思ってしまうことが多いです。  
中学校までの義務教育を終え、本当の意味での甘えを断ち切り、将来の自分の進路に向かって真剣に考える3年間です。  
この3年間の中にも、いかにけじめをつけることができるか。  
周囲から厳しく叱られることは、決してむごいことではありません。むしろ期待されているのだと考えるべきで、甘やかされることのほうがよほど危険なのです。  
高等学校は、成人になるための、社会に行く前の最後の集団教育の場です。  
誉めるとき 叱るとき 目の前にいる子供をしっかり見てください。未来をしっかり見てください。  
家庭のルールを守る子供は、集団中でのルール、学校中でのルール、社会の中でのルールが守れるはずですよ。